



新年あけましておめでとうございます。トキかわら版1月号を発行しました！
2023年もトキについて楽しくお伝えしていきます。本年もよろしくお願いたします。

Translate Tweet



トピック ～トキ放鳥を行った片野尾～

昨年9月に、かつて日本産トキが生息していた「片野尾地区」の棚田でトキの放鳥を行いました。片野尾での放鳥は2019年以来2回目です。9月の放鳥から3か月ほど経過しましたが、今でもトキたちが片野尾の棚田を訪れているようです。

片野尾ではトキの放鳥が始まる以前の2000年代の初め頃から減農薬米の栽培を開始し、約20年にわたり環境保全型農業を実践・継続しています。当時から島外の都市住民のボランティアを受け入れ、田植え・稲刈り体験、ピオトープ整備を行っています。当時は小学生だった子どもたちが学生や社会人になっても島外からボランティア活動に訪れているそうです。

片野尾の環境・風土そして地域の方々の人柄がトキも人も引きつけているのかもしれません。



第27回放鳥の様子



片野尾の棚田

トピック ～2022年を振り返って～

トキの放鳥開始から14年が経過した2022年、野生下トキの推定個体数が500羽以上となり、島内ではトキのいる光景が当たり前になりました。しかし、今ある佐渡の景色は決して当たり前のもではなく、日本産トキが生息していた頃からトキ保護にご尽力された方々やその意志を受け継いできた多くの島民の支えがあり成し得たことだと思います。こうした島民の皆様のを忘れず、人と自然が共生する社会を次世代に残していけるよう、2023年も取り組んでまいります。



2022年、最初に巣立ちを迎えたのは民家の裏の林で育った子どもたちでした。いつも暖かく見守ってくださりありがとうございます。

トキ関連ニュース

12月8日 人・トキの共生の島づくり協議会総会開催

トキの
みがた

- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。



